

## (1) 令和2年度事業報告について

## ○ 動物愛護教室

動物愛護思想及び動物の適正飼養の普及啓発を図るには、次代を担う子供たちに対する教育が不可欠であることから「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岐阜県動物の愛護及び管理に関する条例（所有者等の義務及び遵守事項）」に基づき、小学生を対象として動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚及び動物による危害の防止を目的とした動物愛護教室を開催する。

令和2年度は、各保健所で6回実施した。

## 動物愛護教室開催状況

回数等／年度	H 28	H 29	H 30	R1	R2
開催回数	9	15	17	21	6
受講人数	442	1, 223	1, 520	2, 504	440

岐阜保健所（羽島市立正木小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健環境研究所、保健所）
  - ・保健所の動物愛護管理業務、狂犬病予防法、犬の習性について講義。
  - ・動物愛護推進員の協力で犬の実演を実施。
- 保健所担当者の所感
  - ・狂犬病や予防注射の義務などについて知っている子が多かった。

岐阜保健所（各務原市立稲葉西小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
  - ・『食べ物の安全と安心－安全な食べ物は動物のおかげ－』と題して講義。
- 保健所担当者の所感
  - ・食品の安全性を確かめるために動物の命が関わっていることについて知らなかったという感想が多かった。

岐阜保健所及び本巣・山県センター（本巣市立真桑小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
  - ・『生きているってどういうこと？』と題して講義。
  - ・質問応答のコーナーを設け、動物の命について考える機会を設けた。
- 保健所担当者の所感
  - ・予想以上に多くの質問を受けた。口頭による回答のみでは伝わりにくいと感じたため、想定される質問の回答に関する写真等を事前準備するとよいと感じた。

西濃保健所（大垣市立安井中学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
  - ・動物の命をいただくこと、犬猫の適正飼養について講義。
- 保健所担当者の所感
  - ・保健所には飼い主から捨てられた犬や猫が多く収容されていること、その中で殺処分されるものもいるということを通じて、ペットを飼養するには責任が伴うことを伝えた。
  - ・アンケートでは、飼っているペットを最後まで大事にするといった感想が多くみられた。
  - ・動物の適正飼養や命の大切さの普及啓発をしていくために、今後もこういった機会を通じて啓発していくことは必要であると感じた。

### 恵那保健所（恵那市立武並小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・動物の命と向き合う獣医師の仕事や適正飼養について講義。
  - ・動物愛護推進員の協力で犬とのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
  - ・治療中の猫の写真等を用いて講義することにより、子どもたちは真剣に話を聞いており、助けられない命の話から、「生きている命」の大切さがよく伝わっていたと感じた。
  - ・犬とのふれあいについては有用だが、アレルギーの問題等考慮する必要がある。

### 飛騨保健所及び下呂センター（社会福祉法人中山福祉会 中山保育園）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・食物と動物のつながりについて講義。
  - ・動物愛護推進員の協力で犬猫とのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
  - ・感受性が豊かで柔軟な思考の幼児期に、動物とのふれあいや命について考える機会を設けたことは、大変有意義であると感じた。

※関保健所、可茂保健所及び東濃保健所においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて未実施。

## ○ 動物愛護推進員活動支援事業

県が推進員活動の環境を整備し、その活動を支援することにより、県民に対する動物の愛護及び適正飼養等の普及啓発を図る目的で、各保健所及びセンター管内の推進員活動の支援を実施した。

### 岐阜保健所

支援内容 動物愛護推進員が行う動物愛護教室を支援。

### 本巣・山県センター

支援内容 動物愛護推進員が行うペット防災啓発活動を支援。

### 郡上センター

支援内容 犬猫の適正飼養及び改正動物愛護管理法の普及啓発を支援。

### 恵那保健所

支援内容 保健所から譲渡された犬猫の健康診断を支援。

### 飛騨保健所

支援内容 愛護推進員が行う、動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚を目的とした授業を支援。保健所から譲渡された犬猫の健康診断を支援。

### 下呂センター

支援内容 保健所から動物愛護推進員へボランティア譲渡された犬猫に関する譲渡活動を支援。

※西濃保健所、西濃保健所揖斐センター、関保健所、可茂保健所及び東濃保健所においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて未実施。

## ○ 譲渡ボランティア登録

県内の保健所等は、ボランティアの協力を得て収容動物の譲渡を行っている。これまで、保健所毎でボランティアを登録していたが、令和元年度に県生活衛生課で一元的に登録する制度を整備した。これにより、広くボランティア登録者に譲渡対象動物の情報を提供できるようになった。

登録者 46人（令和3年3月31日時点）

## ○ 岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーの育成

災害時に動物救護活動を円滑に行うためには、ボランティアや動物愛護団体の協力が不可欠であり、個々のボランティア等の力を十分に発揮するためには防災知識及び動物愛護に関する知識を有するリーダーが必要となる。このため、災害時にリーダーとして活動する岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーを養成し、登録している。（任期2年）

令和2年度は新規登録者の養成を行った。

### 岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーとは

#### 1 活動内容

##### (1) 平常時

- ・ ペットの災害対策に関する飼い主等への普及啓発

##### (2) 災害時

- ・ 動物救護ボランティアの受付
- ・ 避難所や動物収容施設等へのボランティア派遣の割り振り
- ・ 避難所や動物収容施設等での飼養相談受付、飼養管理方法の指導及び技術支援
- ・ その他、岐阜県被災動物救援本部が必要と認めたもの

#### 2 登録資格

岐阜県が実施する被災動物救援ボランティアリーダー養成講習会を3回以上受講し、登録しようとする時点で20歳以上であること。

## 講習会開催状況

### ○令和2年度（新規登録者への講習）

	演題	内容	講師	参加者数
第1回	災害時の心構えと対応	災害時の心構えと対応などについて学ぶ	岐阜大学地域減災研究センター 村岡 治道 氏	15
第2回	ペットと防災 あなたにできること、私にできること	被災動物の救援について学ぶ	特定非営利活動法人アンビシヤス 松岡 幸子 氏	17
第3回	ペット版避難所運営ゲーム（HUG） 難易度＝やさしい	図上訓練により避難所運営について学ぶ	動物愛護センター 坂本 貴史 主任技師	11

地域別被災動物救援ボランティアリーダー登録者数

地域	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	合計
登録者数	13	3	18	4	8	46

(令和3年4月1日)